

別表第1 配管口径

(1) 換算管長を求める

$$\begin{array}{cccc}
 \begin{array}{c} 90^\circ \text{ エルボ} \\ \text{使用個数} \end{array} & \begin{array}{c} \text{A 表} \\ \text{数値} \end{array} & \begin{array}{c} 45^\circ \text{ エルボ} \\ \text{使用個数} \end{array} & \begin{array}{c} \text{A 表} \\ \text{数値} \end{array} & \begin{array}{c} \text{逆止弁} \\ \text{使用個数} \end{array} & \begin{array}{c} \text{A 表} \\ \text{数値} \end{array} & \begin{array}{c} \text{仕切弁} \\ \text{使用個数} \end{array} & \begin{array}{c} \text{A 表} \\ \text{数値} \end{array} \\
 (\square \times \square) & + & (\square \times \square) & + & (\square \times \square) & + & (\square \times \square) & \\
 \end{array}$$

$$= \boxed{\square \text{ m}} \text{ (換算管長)}$$

(2) 管長を求める

$$\begin{array}{ccc}
 \begin{array}{c} \text{(実際の管長)} \\ \square \text{ m} \end{array} & + & \begin{array}{c} \text{(前(1)の換算管長)} \\ \boxed{\square \text{ m}} \end{array} & = & \begin{array}{c} \text{(管長)} \\ \boxed{\square \text{ m}} \end{array}
 \end{array}$$

(3) 摩擦損失水頭を求める

$$\begin{array}{ccc}
 \begin{array}{c} \text{(前(2)の管長)} \\ \boxed{\square \text{ m}} \end{array} & \times & \begin{array}{c} \text{(B 表数値)} \\ \square \text{ m} \end{array} & = & \begin{array}{c} \text{(摩擦損失水頭)} \\ \boxed{\square \text{ m}} \end{array}
 \end{array}$$

(4) 損失水頭を求める

$$\begin{array}{ccc}
 \begin{array}{c} \text{(前(3)の摩擦損失水頭)} \\ \boxed{\square \text{ m}} \end{array} & + & \begin{array}{c} \text{(採水口からの落差)} \\ \square \text{ m} \end{array} & = & \begin{array}{c} \boxed{\square \text{ m}} \end{array}
 \end{array}$$

$$\boxed{\square \text{ m}} < 6.60\text{m} \text{ ならば吸水可能}$$

上式を満足しない場合、口径を換えて計算しなおす。

(A表)

口径 (A)	90° エルボ	45° エルボ	逆止弁	仕切弁
100A	3.2	1.5	8.7	0.7
125A	3.9	1.8	10.9	0.8

(B表)

口径 (B)	定数
100A	0.0446
125A	0.0155

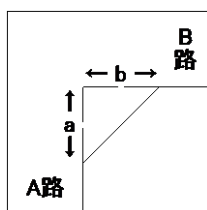
別表第2 進入路の隅切り

大型消防車両										
A路幅 B路幅	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
4	10 × 10	7 × 9	5 × 8	4 × 7	3 × 6	2 × 5	1.5 × 4	1 × 3	0.5 × 2	0.5 × 1
5	9 × 7	6 × 6	4 × 5	3 × 4	2 × 3	1 × 2	0.5 × 1			
6	8 × 5	5 × 4	3 × 3	2 × 2	1 × 1					
7	7 × 4	4 × 3	2 × 2	1 × 1						
8	6 × 3	3 × 2	1 × 1							
9	5 × 2	2 × 1								
10	4 × 1.5	1 × 0.5								
11	3 × 1									
12	2 × 0.5									
13	1 × 0.5									

単位はメートル。

隅切の寸法は(A路側の隅切り寸法(a)×B路側の隅切り寸法(b))を示す。

交差角が90度の場合の隅切幅を示したものであり、90度以外の場合には適宜増減すること。



別表第3 消防法施行令別表第1(5)項イ及び(6)項の代替措置

10階建以下	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・スプリンクラー設備 ・連結送水管 ・屋外避難階段又は特別避難階段※1 ・バルコニー有効幅1.2m以上※2
11階建以上 または 31m以上	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・屋外避難階段又は特別避難階段※1 ・バルコニー有効幅1.2m以上※2 ・非常用エレベーター

別表第4 消防法施行令別表第1(5)項口の代替措置

区分		40号省令不適用※1	40号省令適用
建物の階数			
10階建以下		<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・スプリンクラー設備 ・連結送水管 ・屋外避難階段※2 ・バルコニー有効幅1.2m以上※3 ・GP3型受信機を設けた遠隔試験機能付自動火災報知設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・スプリンクラー設備※4 ・連結送水管 ・屋外避難階段※2 ・バルコニー有効幅1.2m以上※3 ・共同住宅用自動火災報知設備※5
11階建以上 または 31m以上	10階以下の部分	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・スプリンクラー設備 ・バルコニー有効幅1.2m以上※3 ・GP3型受信機を設けた遠隔試験機能付自動火災報知設備 ・非常用エレベーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・スプリンクラー設備※4 ・バルコニー有効幅1.2m以上※3 ・共同住宅用自動火災報知設備※6 ・非常用エレベーター
	11階(31m)以上の部分	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・スプリンクラー設備 ・バルコニー有効幅1.2m以上※3 ・非常用エレベーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊式バルコニー ・スプリンクラー設備※4 ・バルコニー有効幅1.2m以上※3 ・非常用エレベーター

※1 40号省令とは、「特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令」(平成17年総務省令第40号)のことをいう。

※2 住民等の避難、消防隊の進入等に有効な位置に、建築基準法基準より一以上追加設置する。

※3 バルコニーが連続している場合に限る。

※4 共同住宅用スプリンクラー設備を含む。

※5 特定共同住宅等の構造類型により「住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備」を選択可能な場合に限る。

※6 二方向避難・開放型であれば、11階建以上の建物についても10階以下の部分の代替設備として認める。